



柴田 正高 議員

災害時の避難対策について

質問 6月定例会にて、津波避難タワーや避難ビル建設は、大津波に耐える強度基準や経費の問題があり、すぐに建設することは難しいと言われたが、どんな構造物をm単価いくらと想定しての答弁か。

答弁 鉄骨・鉄筋コンクリート2階建てビルだとm約26万、43万円とされている。避難タワーは鉄骨構造のもので高さ10mが約3200万円、15mが約4200万円です。

質問 災害時に備えて、ある程度の燃料備蓄が必要ではないか。

答弁 石油商業組合と災害時における石油類燃料の供給に協定を締結する予定で協議を進めている。これによりあえて備蓄しなくてもよいと考える。

質問 5月26日初めて庁舎内で火災訓練が行われた。そこから明らかになった課題はあるか。避難誘導の情報伝達や重要書類の持ち出しや来庁者の避難誘導はスムーズに行われたか。

答弁 情報伝達については、特に問題はなく、重要

再質問 町自体が水路や段々畑みたいな中山間地を整備して、利用者が利用料若しくは負担金として長期に渡って支払う方法は出来ないか。

答弁 町で全部行つて、後でリースみたいにする方法の提案が今の地域農業を支える上で、今一番必要なかどうか検討してみたい。

再質問 現状の支援は整備しようとした場合、農業者の一時的な負担が大きいために地権者の同意が得られない。荒れ放題の水路となって耕作放棄地になっても良いのか。

答弁 農業に対する支援策は、国・県のものから町単事業までたくさんあり、それらを組み合わせる必要があるかと考えている。

再質問 外灯1個2個点灯する位のもつと小さいマイクログ発電程度で試験することを求める。

再質問 泊川を選定し、調査が行われたが、水のエネルギーを回収するのは非常に困難という評価で農業用水路についても有力視された箇所調査が行われたが、いずれも「相当の困難さが伴う」という評価となっている。

再質問 この報告を聞く限りにおいては、町内の農業用水路に小水力発電設備を設置することは現状では困難であると判断した。

大規模拡大農家の支援策について



山本 優人 議員

質問 大規模農家に対して、町が圃場整備や用水路の大規模改修などの支援が必要であり、これらの支援を行うことによつて生じる余剰労働力を地域の農地環境保全に向けることが出来て、地域の農地環境は維持されると考えるがどうか。

答弁 規模拡大加算、農業夢プラン事業、担い手育成応援事業、農業農村整備事業等、国や県の補助事業を活用したり町単事業で大規模農家をはじめ地域農業の担い手に対して支援策を講じている。

再質問 町自体が水路や段々畑みたいな中山間地を整備して、利用者が利用料若しくは負担金として長期に渡って支払う方法は出来ないか。

答弁 町で全部行つて、後でリースみたいにする方法の提案が今の地域農業を支える上で、今一番必要なかどうか検討してみたい。

再質問 現状の支援は整備しようとした場合、農業者の一時的な負担が大きいために地権者の同意が得られない。荒れ放題の水路となって耕作放棄地になっても良いのか。

答弁 農業に対する支援策は、国・県のものから町単事業までたくさんあり、それらを組み合わせる必要があるかと考えている。

再質問 外灯1個2個点灯する位のもつと小さいマイクログ発電程度で試験することを求める。

再質問 泊川を選定し、調査が行われたが、水のエネルギーを回収するのは非常に困難という評価で農業用水路についても有力視された箇所調査が行われたが、いずれも「相当の困難さが伴う」という評価となっている。

再質問 この報告を聞く限りにおいては、町内の農業用水路に小水力発電設備を設置することは現状では困難であると判断した。



停電時でも電気を使用できる水力発電を試験導入できないか

再質問 ポンポコ山公園に数億円の整備費をかけることを考えれば、夢の可能性として水沢ダムに町営の発電所を作る。そういう構想のための試験もあってもいいのではないか。

答弁 水沢ダムはかんがい、防災の観点から作られたもので、プラスしてそういうものが設置可能かどうか、把握したい。

給食の食べ残し対策について

質問 各小・中学校生徒の給食の食べ残しはどの位あるか。食べ残し生徒の体力はどうか。そのための対策は行っているか。

答弁 6月の残量調査結果は、水小6・3%、埴川小6・4%、八小14%、峰中2・6%、八中9・8%である。全国体力テストの結果、我が町の子どもの体力は決して劣っていない。対策として各学校養護教諭、児童・生徒の担任教諭の指導を得、バランスのとれた食生活の推進に努める。

銃狩猟免許を持つ職員を育成せよ

質問 サルの捕殺やクマの有害駆除など地元猟友会にお願しているが、高齢化により会員が減少している。この先心配である。町で銃狩猟免許を持つ担当者育成するなど対策が必要ではないか。

答弁 職員が免許を取得した場合、銃の保管など難しい問題があり、正職員以外の方に免許を取得してもらう方向で検討している。取得者への助成制度などを含め、八森・峰浜両支部と相談する。

ブナの森公園を整備せよ

質問 県立公園内のブナの森公園遊歩道の草刈やトイレットの清掃は殆ど行われていない。定期的に行い観光振興を図るべきではないか。

答弁 草刈は8月に1度行った。トイレは取水設備が土砂詰まりして使用できない状態である。アクセス道である林道水沢山線は、法面崩壊や路肩決壊など危険箇所があり、マイクログバスの通行も困難であり、現在では観光スポットとして積極的にPRする環境にない。